



科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム

R&D Program:
Science of Science, Technology and Innovation Policy

2018年5月9日／10日

募集説明会

SciREX
サイレンス



研究開発プログラムのコンセプト

**公共的価値の創造と社会システムの変革に科学技術の
研究の成果を結びつけるような仕組みを考案する**

という課題に取り組むことを目標とする。



経験と勘に頼ったこれまでの政策形成ではなく、
「客観的根拠」(エビデンス)に基づく科学技術イノベーション政策の形成
“evidence based policy making (EBPM)”に中長期的に寄与するため、

1. 現実の政策形成に活用し得る新たな解析手法やモデル分析、データの体系化ツール、指標等の研究開発を推進。
2. 幅広い分野と関連する学際的分野で、関与する研究者の層を広げる。あわせて、その活動状況を社会へ広く発信し対話の場を作り、コミュニティ・ネットワークの拡大を図る。

第2期公募型研究開発プログラムの目的

背景

「科学技術イノベーション政策における『政策のための科学』推進事業」（SciREX事業）では、平成27年度に実施された事業中間評価における課題の指摘を受け、平成28年度から当面5年間をめどとする新たな「基本方針」を作成。第5期科学技術基本計画に定める科学技術イノベーション政策の実効性の確保及び第6期基本計画の検討への具体的な貢献を目標とする本方針のもと、JST社会技術研究開発センターでは、「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」第2期公募を平成28年度より実施する。

目的

（文部科学省科学技術・学術政策局 「科学技術イノベーション政策における『政策のための科学』推進事業（SciREX事業）基本方針」（2016.3.31）より）

- 客観的根拠に基づく科学技術イノベーション政策の形成に寄与するため、重点課題に基づき、新たな指標や手法等の開発のための研究開発を公募により推進する。当該研究開発においては、政策形成の実践に将来的につながりうる成果の創出を目指す。
- 個々の研究開発プロジェクトを通じて重点課題の推進に資すること、公募を通じて「科学技術イノベーション政策のための科学」に関わる新たな研究人材の発掘とネットワークの拡大に資することを目標とする。



研究開発プログラムの体制と進め方

(H30年4月25日現在)



4

事業期間と運営体制

事業期間：平成23年度～(これまでに計6回公募を実施)

平成23～26年度：1,500～3,000万円／年度・PJ(最長3年間実施)、各年度5～8件採択

平成28年度～ ～500万円／年度・PJ(最長3年6ヶ月間実施)、各年度数件採択

プログラムアドバイザー

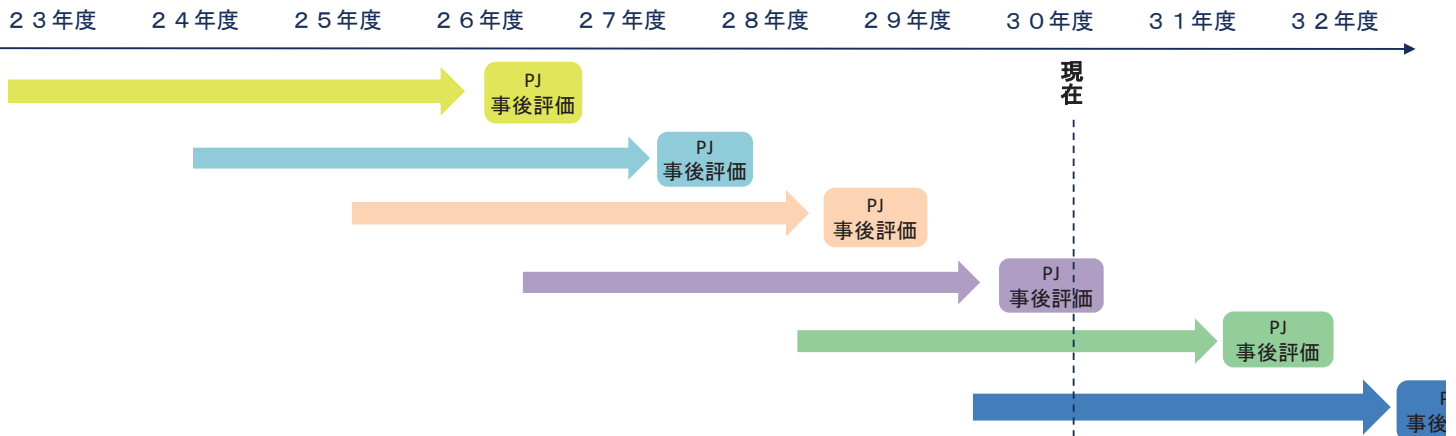
(平成30年4月時点)

プログラム 総括	山縣 然太朗	山梨大学大学院 医学工学総合研究部 教授	
アドバイザー (8名)	伊地知 寛博 (チーフアドバイザー)	成城大学 社会イノベーション学部 学部長、教授	科学技術イノベーション政策研究
	五十嵐 道子	フリーランスジャーナリスト	ジャーナリズム、メディア
	亀井 信一	株式会社三菱総合研究所 研究理事	シンクタンク/ナノテクノロジー
	木村 忠正	立教大学 社会学部 メディア社会学科 教授	文化人類学
	田辺 孝二	東京工業大学 環境・社会理工学院 特任教授	イノベーションマネジメント
	中田 喜文	同志社大学大学院 総合政策科学研究科 教授	経済学
	永野 博	慶應義塾大学 理工学部 訪問教授	科学技術イノベーション政策研究
	松田 一敬	合同会社SARR 代表執行社員	インキュベーター、ベンチャーキャピタル



5

採択年度	提案数	採択数	企画調査
平成23年度	56	6	2
平成24年度	43	5	2
平成25年度	43 (特別枠26、通常枠17)	5	2
平成26年度	53 (特別枠29、通常枠24)	5	—
平成28年度	37	3	—
平成29年度	27	4	—
計	259	28	6



平成30年度公募の概要 (1)

〈対象とする研究開発〉

- ① **客観的根拠に基づくSTI政策形成の実践に将来的につながりうる**研究開発。政策のための科学としての新たな発想に基づく指標や手法の開発、制度設計に資する方法論等、オリジナリティのある提案を求める。
- ② 文部科学省が定める**SciREX事業「重点課題2016」**に基づく**政策形成の実践に将来的に資する**研究開発を推奨。
- ③ 「**STI政策のための科学の深化**」および「**客観的根拠に基づく政策形成プロセスの進化**」という**観点から**みて、研究開発プロジェクトの位置づけや**リサーチ・クエスションが明確**である提案。
- ④ 研究開発成果が、**将来的に「誰に／何を」与えるのか**が**構想されている**提案。

〈研究開発期間・規模〉

- ・ 研究開発期間： 3年6ヶ月以内
- ・ 研究開発費： 500万円未満/年・件 (直接経費)
- ・ 採択予定件数： 数件程度

〈選考スケジュール〉

- ・ 募集期間： **平成30年6月11日(月) 正午** 〆
- ・ 選考期間： 平成30年6月中旬～9月中
- ・ 研究開発開始： 平成30年10月1日(予定)

文科省の旗振りのもと、SciREXセンターを中核として、SciREX事業全体で「重点課題」に基づく研究開発を推進する体制に。



平成30年度公募の概要（2）

- **SciREX事業基本方針および重点課題2016**をもとに枠組みを設定
- 前年度までと同様に、**二段階選考**を実施
- 平成29年度公募より、募集要項の構成をあらため「**プログラムとして期待する研究テーマ**」をより明確に

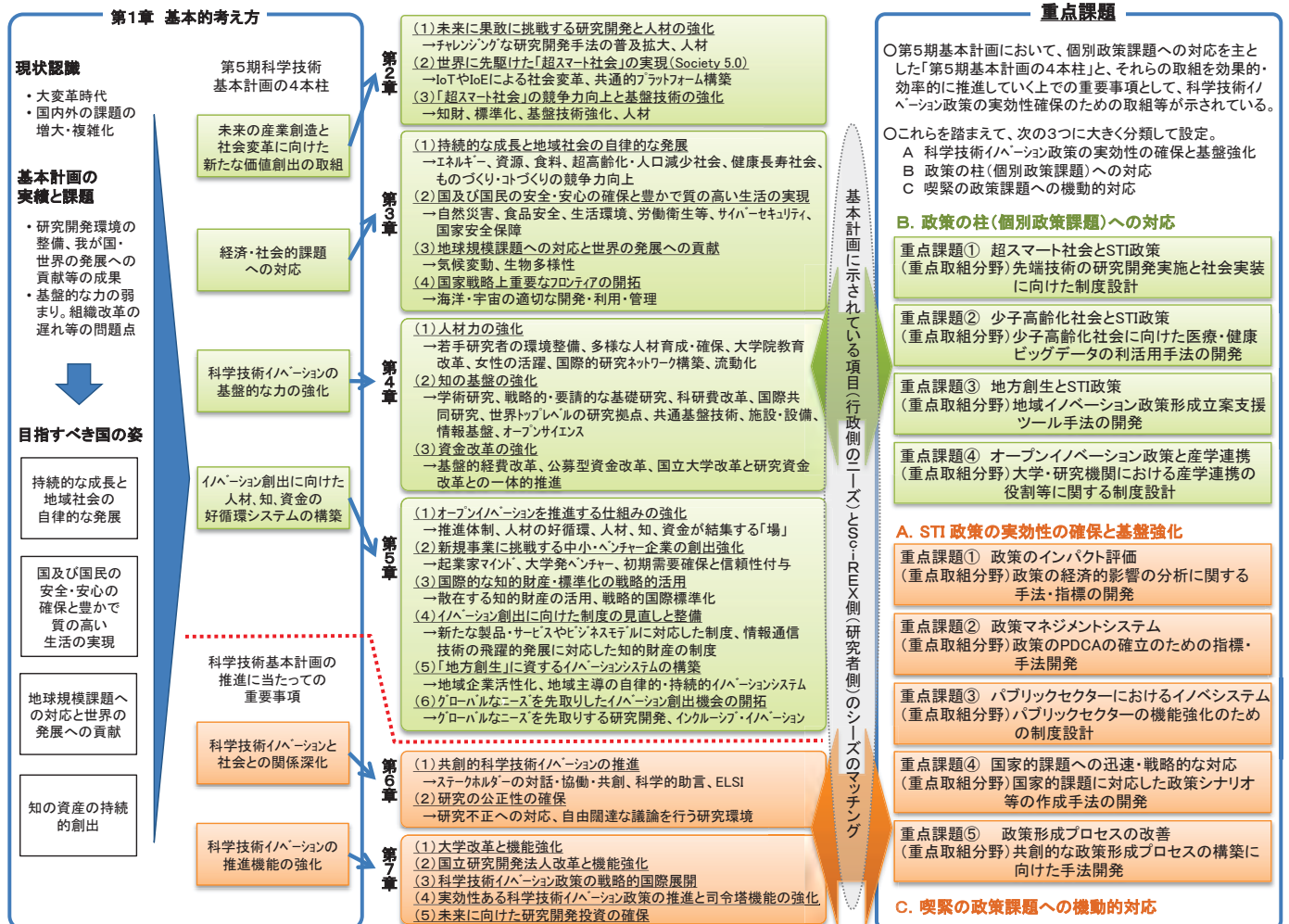
プログラム総括が募集・選考にあたって期待する提案

- (1) 戦略的なダウンサイジングに向けた課題の抽出と対応策の提案
- (2) 研究開発と政策形成の架橋に関する研究
- (3) 政策形成に向けたオープンデータの利活用等に関する提案
- (4) 研究開発プログラムの設計における参加のあり方に関する提案
- (5) 科学技術イノベーション政策の社会的インパクト評価に関する提案

NEW!!

※SciREX重点課題に対応がある限りにおいて、プログラムが期待する5テーマに即していない提案も排除しない

(参考) 重点課題2016と科学技術基本計画との関係



平成30年度公募の概要（3）

選考プロセス: 2段階に分けて実施

➤ 一次選考（サマリー）

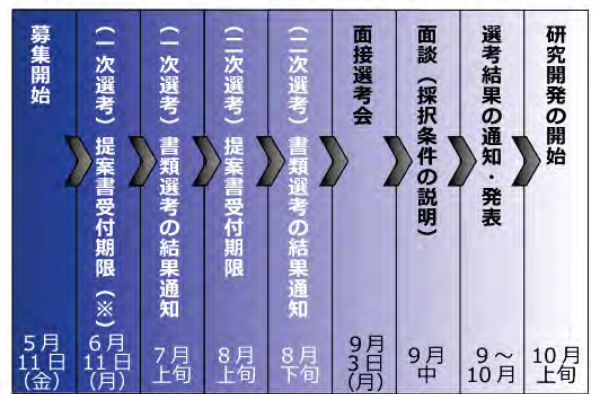
簡単なコンセプトを提出していただき、プログラム目的に合うものを二次選考の対象とします。

➤ 二次選考（フルプロポーザル）

一次選考通過提案に対し、詳細な提案書を提出していただき、以降はこれまでの選考方法に準じて、採択プロジェクトを決定します。



選考スケジュール（予定） *時期はH29年度実績を基に記載

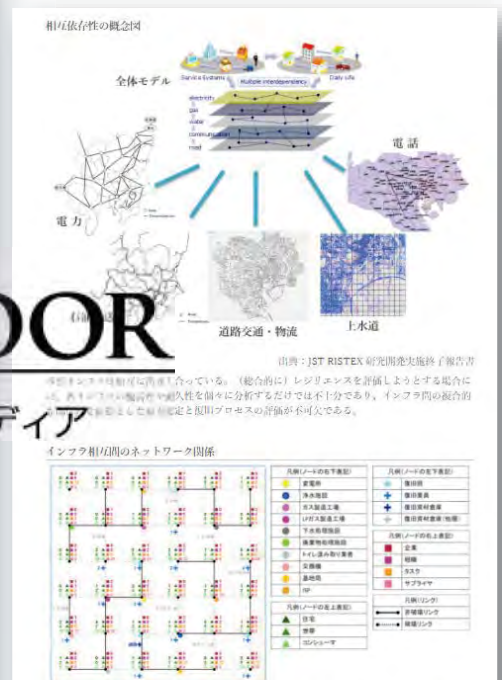


※ 府省共通研究開発管理システム (e-Rad) での受付期限



POLICY DOOR

研究と政策と社会をつなぐメディア



出典: JST RISTEX 研究開発実施終了報告書
"Resilience Analysis of Critical Infrastructure",
10th International Conference on Computer Engineering and Applications (ICCA'16),
Barcelona, Spain, 2016.2.14.

重要インフラ間の相互依存性の分析については、各インフラがどのような状態によって構成されているかに分解したうえで、各要素と他のインフラとの結び付きを考慮することで、各要素の役割が他のインフラに与える影響を分析できるようにした。

成果創出と政策実装に向けた連携



- 研究開発成果の活用・応用、実装の促進
 - … 成果発信プラットフォームの構築と活用(今後の課題)
 - 採択PJとSciREXセンターPJ、拠点間連携PJ、政策リエゾン等の連携の推進
 - … 積極的なPJ間連携を通じた成果創出と政策実装
- 取り組みや成果の発信、政策現場と研究開発の相互作用
- … 研究者、政策実務者ネットワークの強化と連携、協働の促進
 - … 政策対話の場、SciREXセミナーの共催
- 「政策のための科学」を形成しうるコミュニティの形成・維持強化、人材育成とキャリアパスの支援



「SciREXセミナー」等を通じたPJ成果の発信

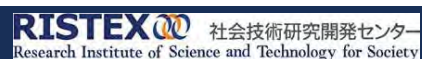
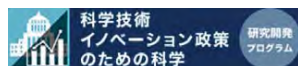
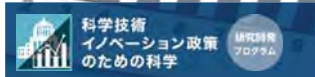
SciREXセミナー等	開催日	RISTEXプロジェクト
第4回セミナー	(H27.6.11)	長岡PJ
第5回セミナー	(H27.6.18)	松浦PJ・加納圭PJ
第6回セミナー	(H27.9.9)	楡井PJ
第7回プログラムサロン	(H28.2.22)	今中PJ・西浦PJ
第15回セミナー	(H28.2.29)	松八重PJ
第16回セミナー	(H28.3.23)	長岡PJ
第18回セミナー	(H28.10.25)	加納信PJ
SciREXサマーキャンプ2017	(H29.8.20-22)	八代PJ
第22回セミナー	(H30.1.10)	牧PJ
第10回プログラムサロン	(H30.3.2)	
第23回セミナー	(H30.3.13)	古田PJ
SciREXクォーターリー8号		西浦PJ
第24回セミナー	(H30.4.20)	今中PJ



データは、底力。

社会の問題解決とイノベーションにつながる政策を生み出す

平成30年度公募
5月11日受付開始



選考スケジュール（予定）

募集開始	5月11日（金）
一次選考用提案書受付期限	<u>6月11日（月）正午</u> <厳守> (e-Rad) での受付期限
一次選考結果の通知	6月下旬（予定）
二次選考用提案書受付期限	7月下旬（予定）
二次選考（書類選考）の結果通知	～8月下旬（予定） 面接選考会の1週間前頃を目途に連絡
二次選考（面接選考会）	9月3日（予定） 日程が決まり次第、ホームページに掲載
採択の通知・発表	9月中（予定）
研究開発の開始	10月1日（予定）



科学技術
イノベーション政策
のための科学

研究開発
プログラム

RISTEX 社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society

ご静聴ありがとうございました！

SciREX
サイエンス未来